

EF-ファイル作成対応【補足資料】

EF-ファイル提出にあたり、ORCA で作成した EF-ファイルを
提出データ作成端末へ異動させる必要があります。例として EF ファイルを ORCA のデスクトップへ保存し、
USB メモリへ格納する手順をご説明させていただきます。

1. EF-ファイルを ORCA のデスクトップへ保存

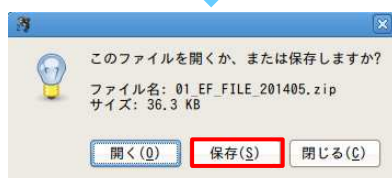
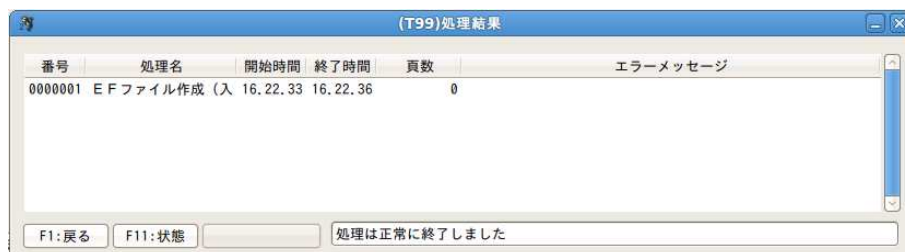
- ①「44 総括表・公費請求書」画面にてデータの種別を「8 EF ファイル」に設定し、
ファイル出力先を「5 クライアント保存」と設定します。

- ②「①」の設定をすることで、「E・F」ボタンが有効となります。
「E・F」ボタンを左クリックします。

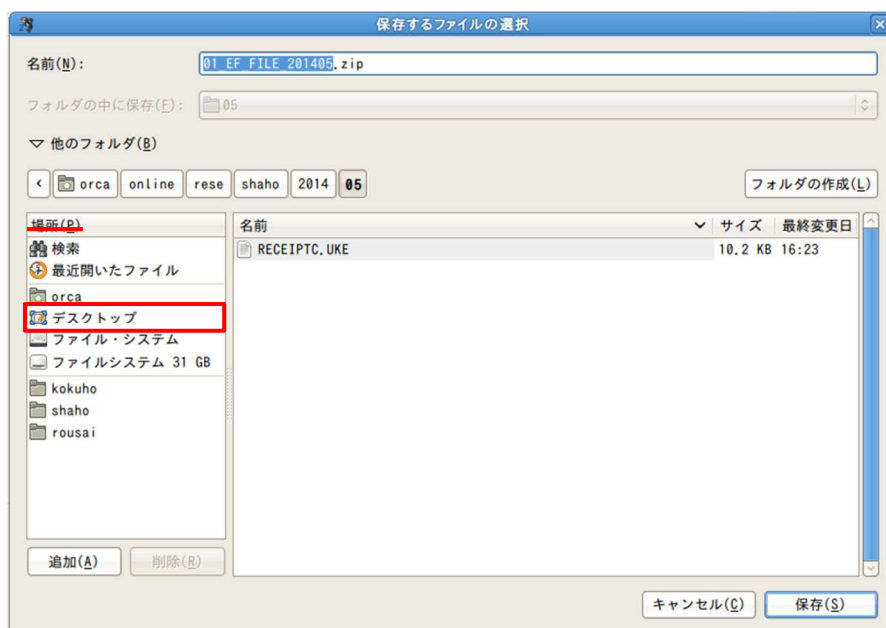
③確認画面の「F12：作成する」を左クリックします



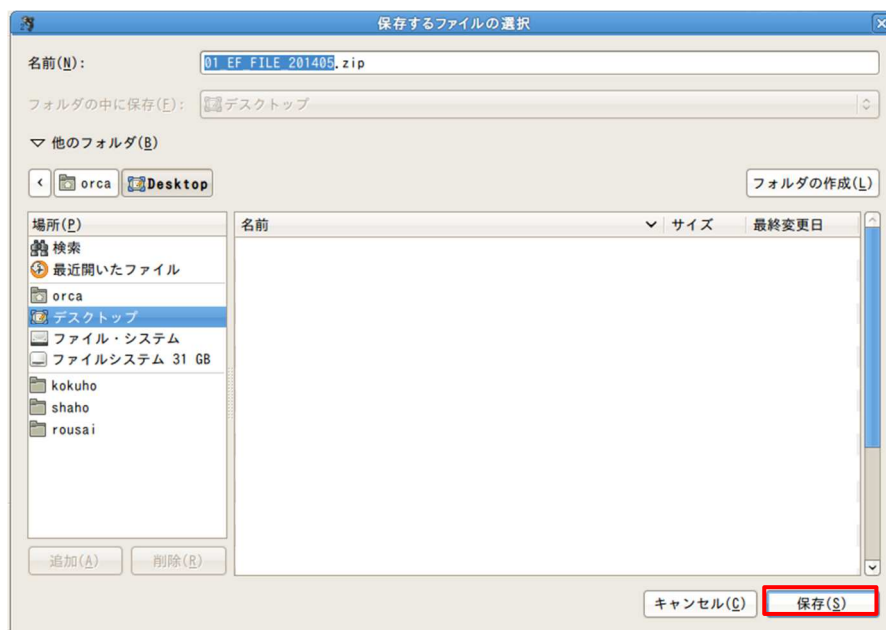
④処理後に「このファイルを開くは、または保存しますか？」のメッセージが表示されますので、「保存(S)」を左クリックします。



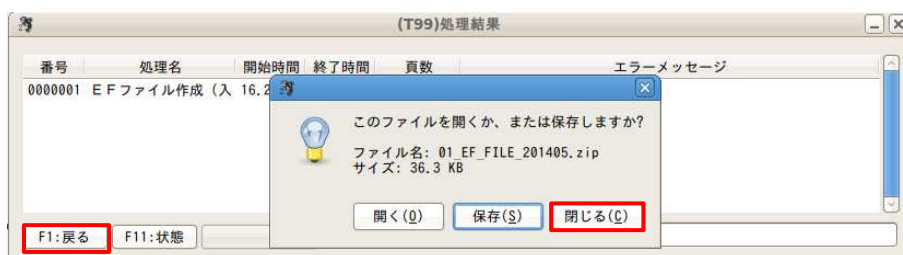
⑤「保存するファイルの選択」画面でファイルの保存先を選択します。(前回の保存先が表示されます)「場所」から「デスクトップ」を選択します。



- ⑥「保存するファイルの選択」画面から「保存(S)」を左クリックすることで、デスクトップへ保存されます。



- ⑦以下の画面は「閉じる(C)」をクリック後「F1: 戻る」をクリックし閉じてください。



- ⑧デスクトップに zip ファイルが作成されます。



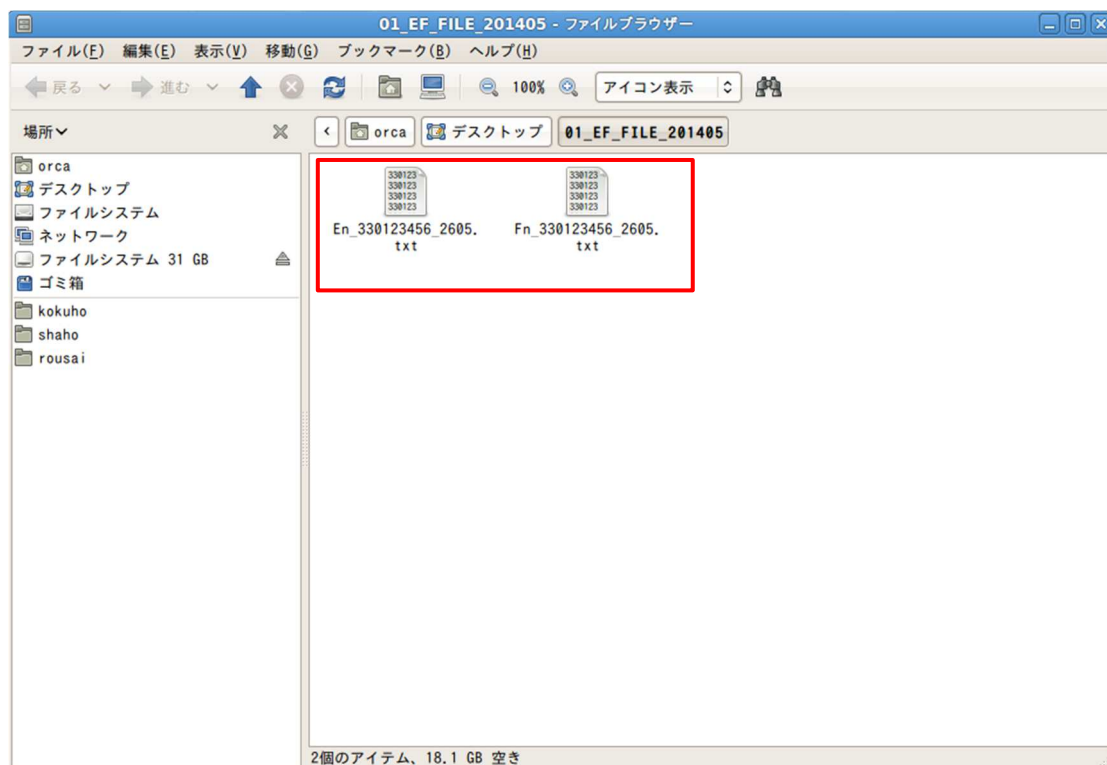
⑨zip ファイルを右クリックし、一覧から「ここに展開する」をクリックします



⑩EF ファイルのフォルダが作成されます。

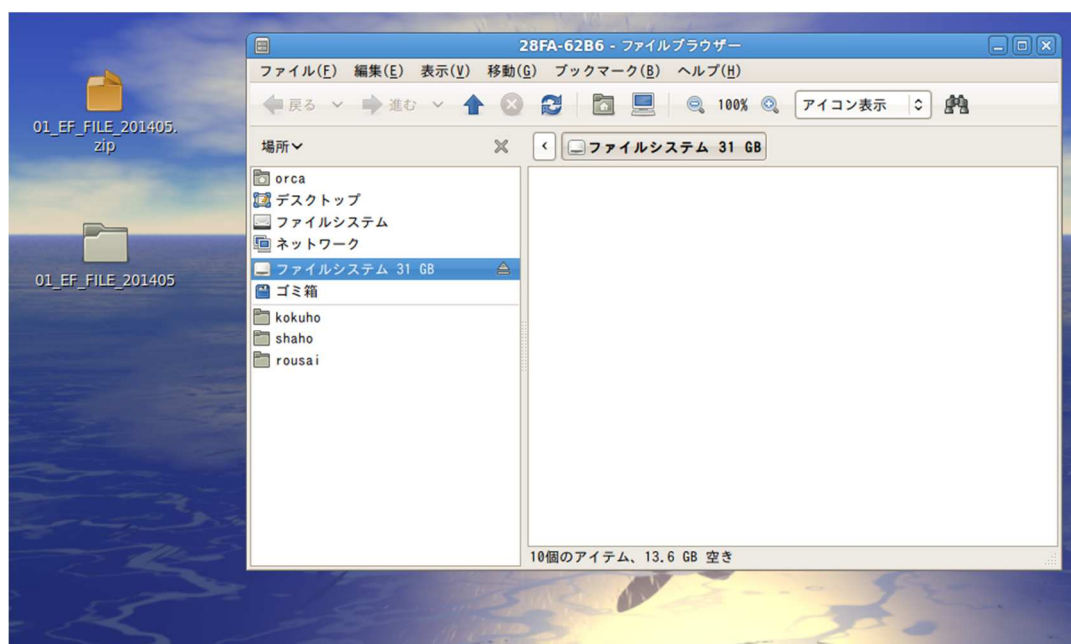


⑪フォルダをダブルクリックし、フォルダの中にファイルが存在することを確認してください。

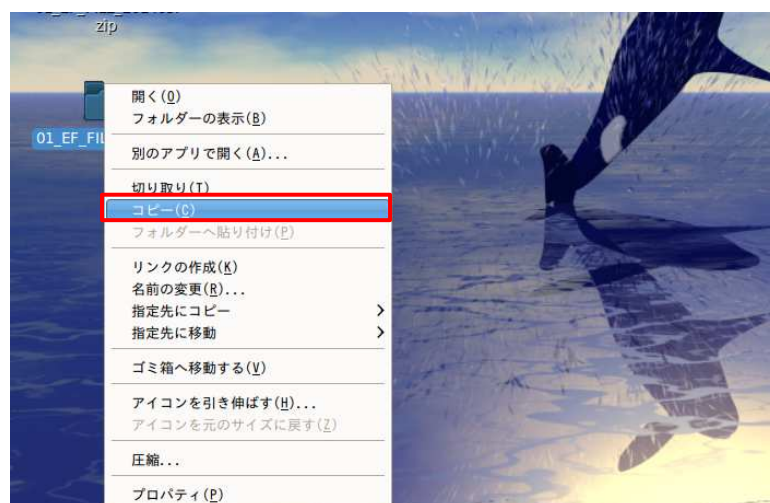


2. EF ファイルを USB メモリへ格納

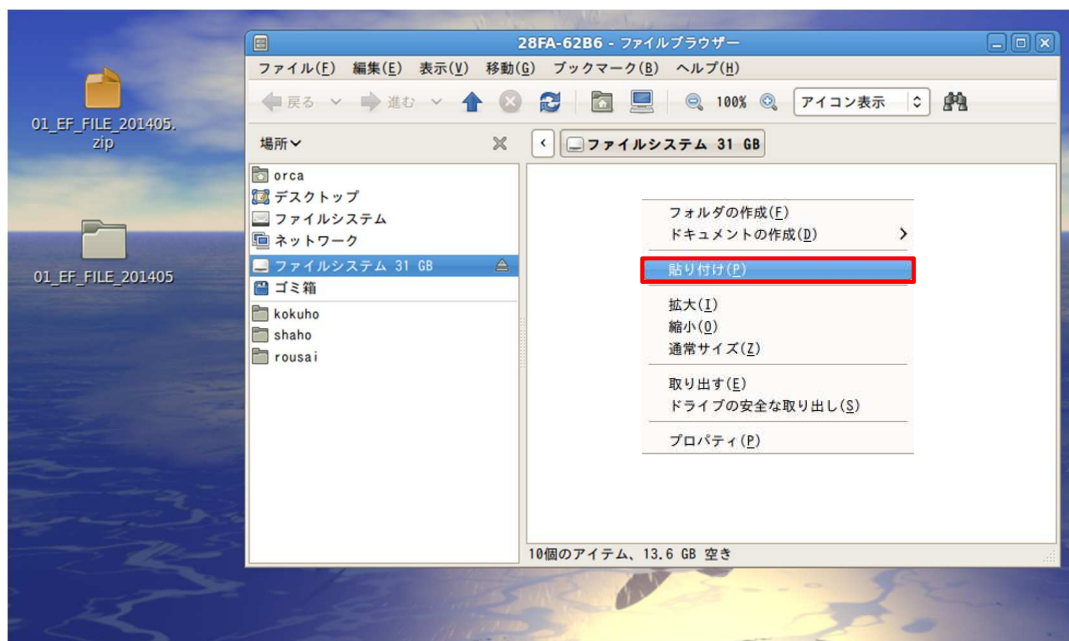
①USB メモリを ORCA 端末へ差込みます。USB メモリのファイルブラウザが表示されます。



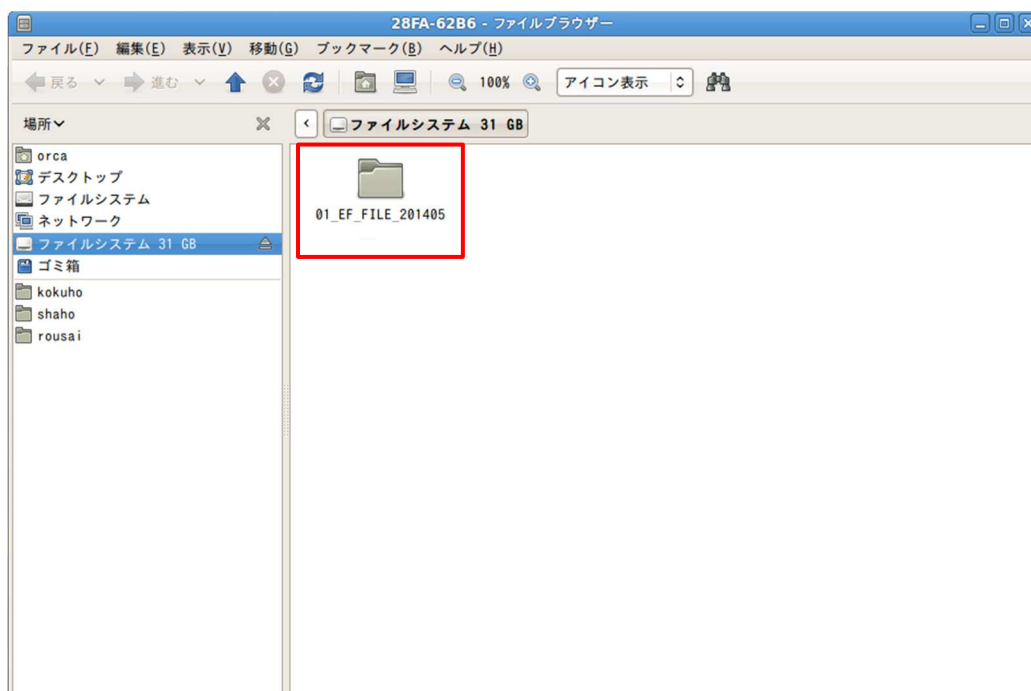
②EF ファイルのフォルダ上で右クリックし、一覧から「コピー」を選択します。



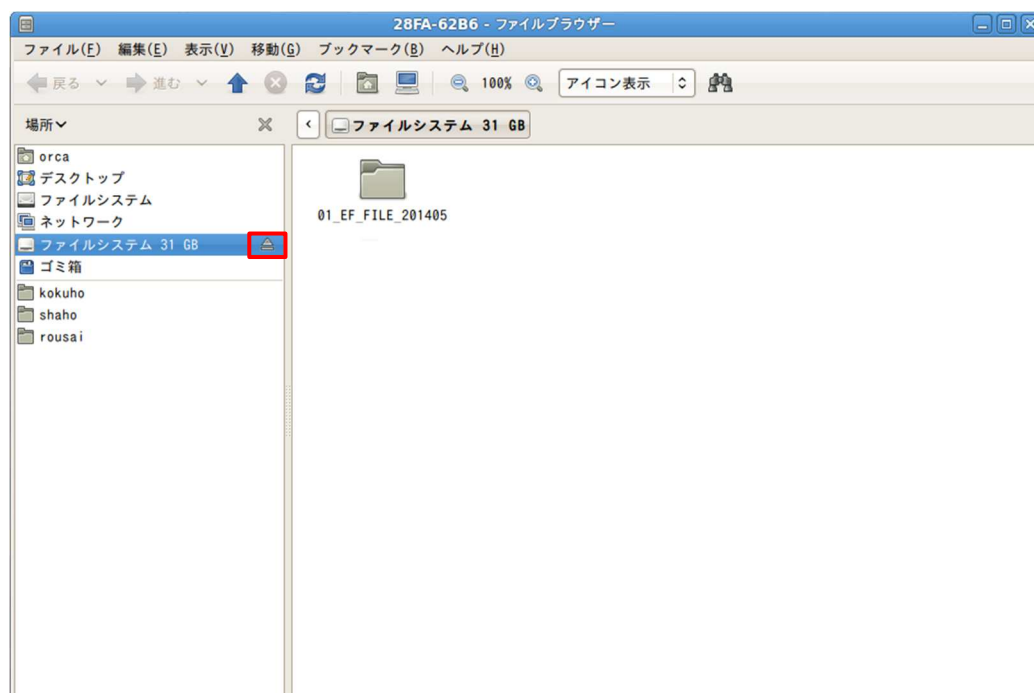
③USB メモリのファイルブラウザ上で右クリックし一覧から貼り付けを選択します。



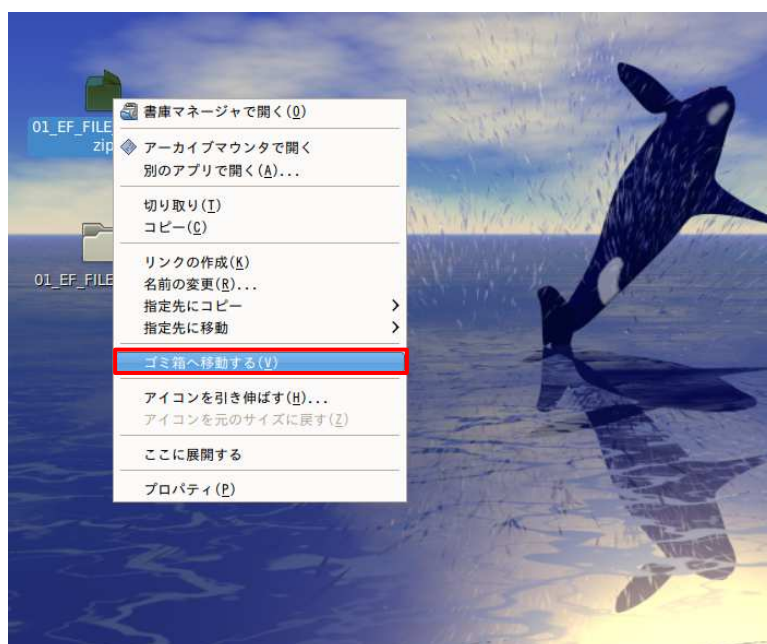
④USB メモリのファイルブラウザに EF ファイルのフォルダが格納されます。



⑤「取り出しボタン」をクリックし、USB メモリを取り外します。



⑥デスクトップに残っている zip ファイル及び EF ファイルのフォルダは、右クリックし、一覧から「ゴミ箱へ異動する」を選択し削除してください。



※提出データ作成端末で EF ファイルも一元管理されることをおすすめしますが、ORCA で EF ファイルを保管されたい場合は、弊社にて保存環境を作成可能ですので、お気軽にお問い合わせ下さい。

以上で作業が完了です。